

第 30 回秋季シンポジウム開催に寄せて

2023 年 10 月 26 日、27 日、長崎市において開催の日本輸血・細胞治療学会第 30 回秋季シンポジウムの会長を拝命いたしました国立病院機構長崎医療センターの長井一浩でございます。その開催までいよいよ 1 か月足らずとなりました。

本学会の全国規模の学術集会在九州で開催されますのは、2017 年の第 24 回秋季シンポジウム（於・大分市、会長 佐分利能生先生）、2019 年の第 67 回学術総会（於・熊本市、総会長 米村雄士先生）に続くものであり、長崎市では 2001 年、当時の長崎大学医学部附属病院輸血部長故・上平 憲先生が会長となられた第 9 回秋季シンポジウム以来 22 年振りの開催と本当に久々の事でございます。

会場は、長崎市中心部の出島メッセ長崎というコンベンションホールです。2022 年 9 月西九州新幹線開業をはじめ再開発が進む JR 長崎駅エリアに位置しており、繁華街や観光スポットへのアクセスも良好な立地です。

シンポジウムのテーマは、「集合知としての輸血・細胞医療～DEJIMA から世界～」であります。「集合知：Collective Intelligence」とは、「多様な個人で構成されるコミュニティにおいて、相互の協調と協働を通じ、より高次の複雑な思考、問題解決、統合、創造性を獲得する力」であると云えましょう。このような観点から、基礎医学から社会的な課題に至るまで、輸血・細胞療法を取り巻く多面的なテーマについて議論を深めるべく、多彩なセッションを企画いたしました。現地会場での交流はもちろんのこと、ライブ配信やオンデマンドの hybrid 開催併用の利点を活かして参ります。

1855 年、Pompe van Meerdervoort 先生が出島～DEJIMA を門戸として来日、以後我が国の近代西洋医学が興ったこの長崎の地に、多くの学会員の皆様が全国からご参集頂き、闊達な議論を通して新たな連携と未来へ向けた知の種子が撒かれんことを、そうして医療の現場において着実に結実することを切に希望致します。

10 月の長崎は、心地よい天候で野山も秋の彩り鮮やかな時期であります。シンポジウムの後にお楽しみいただける観光スポットも盛り沢山です（HP のリンク URL をご参考にしてください）。

皆様のご来場、ご参加を心よりお待ちしております。

2023 年 10 月吉日

第 30 回 日本輸血・細胞治療学会 秋季シンポジウム
会長 長井一浩

（独立行政法人 国立病院機構長崎医療センター 臨床検査科）

